

1 これまでの経緯

(1) 令和6年8月 「川崎市幸市民館・川崎市立幸図書館改修基本計画（以下「基本計画」という。）」策定

築年数の経過に伴う配管の劣化や老朽化した設備等の更新、大ホールの特天天井対策、照明のLED化やバリアフリー対策等の整備を行う必要があることから、これらの課題等を踏まえ、より市民に親しまれる施設とするため、改修に向けた基本的な事項を整理

基本理念

多くの市民に愛され利用され続ける“学びといこいの場”

基本方針

- (1) 気軽にふらっと立ち寄れるサードプレイス
- (2) 多世代が集まり自由に過ごす“集いの場”
- (3) 区民や地域団体が集まり交流する“仲間づくりの場”

(2) 令和6年10月～「実施設計」実施（令和8年3月完了予定）

ア 基本計画に基づき、レイアウト等の詳細設計実施

イ 改修工事の工期及び工事費の算出

2 幸市民館・図書館改修工事の概要

(1) 施設概要

名称	川崎市幸市民館・川崎市立幸図書館
竣工	昭和55(1980)年(築45年)
所在地	川崎市幸区戸手本町1丁目11番地2
敷地面積	6,397.38㎡
延床面積	6,092.74㎡
主要構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上3階地下1階建



(2) 工事内容

- | | | |
|---------------|----------------|------------|
| ア 大ホールの特定天井対策 | エ トイレの快適化 | キ 浸水対策 |
| イ 設備・内装等の更新 | オ 諸室の機能・規模の見直し | ク バリアフリー対策 |
| ウ 照明のLED化 | カ 諸室等の配置の変更 | |

4 今後のスケジュール（予定）

施設の供用開始につきましては、基本計画時点では令和10年4月を想定していましたが、工期の精査に加え、開設準備に要する期間についても他事例を参考に検討した結果、令和10年7月を予定しています。

また、今回の報告後に利用団体、町内会等に対して、今後のスケジュールなどを説明してまいります。



※工事は、令和8年第3回市議会定例会での議決後の契約を想定しています。

5 概算事業費

概算事業費は次のとおりです。

概算事業費	工事費	約31億円
	工事監理費	約1.5億円
計		約32.5億円

6 基本計画で「改修」としたことについて

基本計画で「改修」としたことについて、労働会館改修工事を踏まえ、改修工事と改築工事の比較や工事着手後のリスクについて、令和8年1月に課長会議及び局長会議での確認を実施しました。

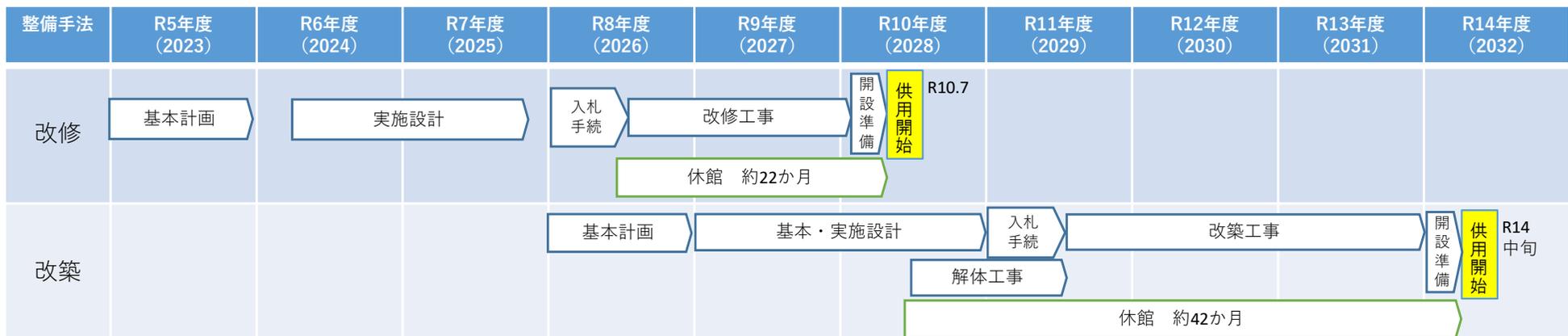
※会議の出席者は、総務企画局、財政局、まちづくり局、教育委員会事務局

(1) 工事費の比較

改修の場合は約31億円に対して、改築の場合は約74億円 ※令和8年1月時点

(2) 工事期間の比較

工事による休館期間は、改修の場合は約22か月に対して、改築の場合は約42か月（解体工事含む）



(3) 工事着手後のリスク

労働会館改修工事においては、竣工図が保管されておらず内装を解体した後に図面と既存躯体との相違等が判明し、構造の再検討や設備設計などの見直しが必要となったこと、新設する多数の配管貫通孔の位置の検討、杭の新設に当たり、想定をしていなかった地中障害物の撤去が必要となったことなどにより、工事着手後の設計変更が必要となりました。

幸市民館・図書館については、竣工図が保管されており、一定程度、現状と図面に相違がないことを確認できたこと、配管貫通孔が少ないこと、新設杭がないことなどから、工事着手後のリスクが少ない状況です。

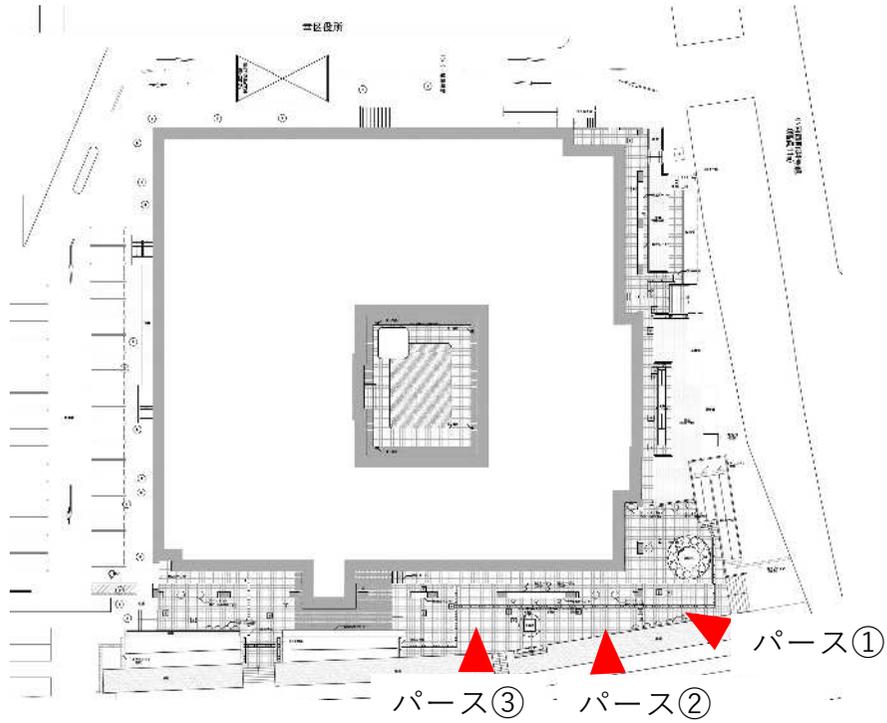
幸市民館・図書館改修工事について

労働会館と幸市民館・図書館との比較

項目	労働会館	幸市民館・図書館	幸市民館・図書館の工事着手後におけるリスク評価
設計図	有	有	竣工図等が保管されていること及び事前調査においておおむね図面と現地が整合していることが確認できたことから、構造検討や施工図作成に時間を要するリスクが少ない。
竣工図	無	有	
事前調査	設計者が点検口等から現地確認を行ったが、構造が複雑であること等から確認できていない箇所があったと想定される。	まちづくり局職員及び設計者が、竣工図を基に、天井点検口から設備配管等の状況を調査を実施	
鉄筋コンクリート壁補強	7 0 構面	1 1 構面 (1階7構面、2階4構面)	竣工図と現地の構造躯体との整合性の確認が取れており、耐震補強が少ないため、施工に要する時間が少ない。
鉄骨ブレース	6 3 構面	無	
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 ※ホール部分が45度振れるなど複雑な構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 ※ホール部分も整形な構造	労働会館のような 複雑な構造ではない ことことから、構造検討に時間を要するリスクが少ない。
新設杭	耐震補強のための新設杭、設備棟の新築のための杭	無	配管工事はあるものの 新設杭が無い ため、地中障害物への対応に時間を要するリスクが少ない。
配管貫通孔	配管貫通孔が多数あり、また設計図と位置が異なるため、新設配管の位置決定や構造検討に多大な時間を要する。	事前調査の結果、配管の多くは構造躯体（梁）の下を通過しており、配管貫通孔が少ない状況を確認	配管貫通孔が少なく、天井のふとところに余裕がある ため、配管の配置決定や構造検討に時間を要するリスクが少ない。

以上から、工事費及び工事期間において改修が有利であり、休館期間も短く利用者への影響も少ない。また、工事着手後のリスクが少ないことから、**基本計画どおり「改修」として進める。**

7 外観イメージパース



パース①



パース②



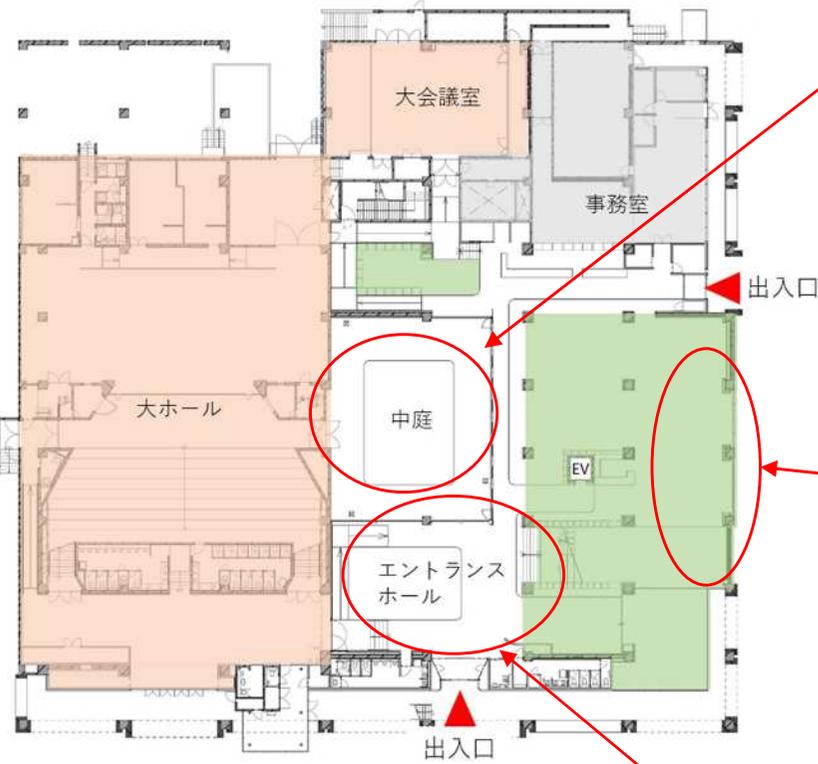
パース③



※パースはイメージであり、変更が生じる可能性があります。

8 平面計画・イメージパース

【1階】



凡例

- 市民館諸室
- 書架・閲覧席
- 倉庫等
- 共用部等

BEFORE



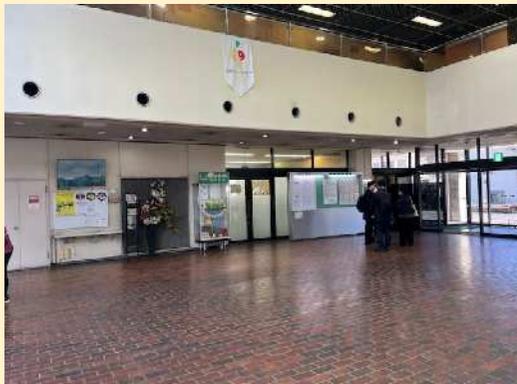
AFTER



普段利用のない中庭を休憩や読書ができるなど有効活用



既存の竹林を活かした図書館空間



エントランスホールと階段が一体となる空間

幸市民館・図書館改修工事について

【2階】



BEFORE



AFTER



市民館諸室の活動の見える化により新たな発見の創出



2階に書架を配置



グループワーク等様々な学習が可能となる空間を配置

凡例

- 市民館諸室
- 書架・閲覧席
- 倉庫等
- 共用部等

※パースはイメージであり、変更が生じる可能性があります。